

## 1 学校教育目標

- 明るく元気な子 礼儀正しいあいさつ・運動習慣・正しい生活習慣を身に付け、心身ともに健康で安全な生活を送ることができる子ども
- ◎ 自ら考え学び合う子 教科学習、読書、体験的な活動、地域の人々との関わり、様々な体験による学びを通して、考えを深めることができる子ども
- 仲よく助け合う子 他者への優しさ、協力の大切さに気付き、助け合い、信頼関係を深めながら、よりよい人間関係を築こうとする子ども

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	明るく、楽しく学びがいのある学校	安全・安心で信頼できる学校	地域に貢献する学校	夢の実現をめざす学校
○児童・生徒像	㊸かよく助け合う子ども ㊹んばりへこたれない子ども ㊺ことん考え学び励む子ども			
○教師像	子どもと共に歩む教師 創造し、実践する教師 常に学び成長する教師 和を尊び協働する教師			

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校】新型コロナウイルス感染予防対策を確実に実行し、創意工夫・柔軟性に富んだ学校運営を図る。

- 新型コロナウイルス感染予防対策を確実に実行し、共通理解・実践を図りながら、様々な課題に向き合い、解決してきた。
- 教師自らが、日々、研究と修養に努め、特に、学習指導力の向上の意識を各自が持ち続け、実践していくこと。
- 子どもと向き合う時間の確保し、子どもの望ましい学習・生活・運動・読書習慣の定着に向け、全学年共通実践を行うこと。

【児童】個別の状況を把握し、その子に応じた指導・支援を行う等、一人ひとりを大切に育む

- 素直に何事も取り組む児童が多く、明るく元気に挨拶をする習慣が身に付きはじめている。
- 学びへ丁寧さが着実に育まれ、その成果が結果に結び付くようになっている。
- 友達に対しての口調や言葉の選び方をはじめ、相手や場に応じた正しい言葉遣いを使えるようにしていくこと。

【保護者・地域】

- 学校の教育活動に対して理解を示し、信頼して子どもを学校に通わせている。
- PTA・地域は、学校と共にこの難局を乗り越えていこうと一致協力体制を組み、学校行事や地域行事に取り組んでくださっている。
- 一人ひとりの子どもの成長に向け、それぞれに抱える課題に向け、情報交換を大切にし、連携して対応する。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	児童理解に基づく、生活指導・特別支援教育の充実	○	○	○	○	○
3	安全・安心な学校づくりと学校における豊かな体験活動の充実	○	○	○	○	○

## 5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの学習習慣の定着</li> <li>タブレットPC活用の充実</li> <li>指導力向上中核校としての充実</li> </ul>		全学年全教科 目標通過率目標 85%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	学習習慣の定着 (家庭学習含)	全学年 全教科	日常	学年の発達段階に応じて、全学級が保護者と連携して、学習の習慣化を図る。	学力調査(意識) 保護者アンケート 教員による評価	実態把握 90% 以上の実施率	自己評価の際に記入		
	AI型教材を活用した学びの個別最適化	全学年 国語 算数	日常	授業の導入・展開・復習の場面で活用し、一人一人に応じた指導を行う。	学習データの 確認	各単元の習熟度 90%以上			
	学習指導の 確実な実践	全教員 全教科	日常	管理職が週案と照らし合わせながら、授業実践の実態を観察する。	週案による評 価と指導	週ごとの実態 把握 90%以上 の実施率			
	教員の学習 指導力の向上	全教員 全教科	日常・ (6・9・ 11月)	管理職が授業観察と評価及び全教員への指導・改善を指示する。年間3回実施。(自己申告面接時)	2月学力調査 テスト結果	国語・算数通過 率 85%以上			
	各教科・ 領域の指導 時数確保の 徹底	全教員 全教科	月毎	教務主任が目標数値と照らし合わせ、計画通りの時数実施を確認する。	時数報告用紙	月毎に 90%以上 の計画実施 率の確保			
	指導力向上中核校 研究推進	全教員 国語科	研究授業年間 3回	読みの力を身に付けるための実践的研究を行う。研究過程や研究成果等の情報発信を行う。	指導主事等の 指導・助言 情報発信 実態把握	児童の文学的文章の正答率 90%以上 他校教員参観の増加			

重点的な取組事項－２		児童理解に基づく、生活指導・特別支援教育の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀正しいあいさつの習慣化</li> <li>・特別な支援を要する児童への早期対応</li> <li>・ウイルスに負けない体づくり（体力）</li> </ul>		子どものあいさつ・言葉遣いの実態 検温、石けんでの手洗い等の感染防止対策の実態 体力向上の取組（縄とび・持久走等）	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
不登校の 早期発見・対応	不登校／登校渋り実態 の改善（昨年度0人）	実態把握と早期対応 保護者との面談・連携 SC・SSWの活用した教育相談	自己評価の際に記入		
特別な支援を要する 児童への早期対応	支援や配慮を要する 児童への支援率100%	校内研修会の実施 校内委員会の充実 （定期・随時） 迅速なケース会議の実施 （関係機関等との連携）			
いじめの・不登校の 早期発見・早期対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの解消率の上昇</li> <li>・重大事態の件数0</li> <li>・不登校、登校渋りの児童への支援率100%</li> </ul>	日々の学級指導・学級経営 定期的に実態把握 （6・11月・2月） 校内生活指導連絡会における 情報共有と共通実践			
h-QUの活用 要支援群の指導改善	要支援群に属する児童 の80%以上改善（2月）	検査結果の分析・指導改善 校内研修会の実施 （情報共有と共通実践の確認）			

重点的な取組事項－3		安全・安心な学校づくりと学校における豊かな体験活動の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した登校実態の実現</li> <li>いじめの早期発見・早期対応</li> </ul>		不登校／登校渋りの児童数の割合の減少（昨年度比） いじめの未対応・重大事態 0 件	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
子どもと教職員とのあいさつの習慣化 (安心できる学校環境づくり)	子ども・教職員の自己評価 95%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校時の全教職員であいさつ実施の徹底</li> <li>挨拶運動の実施</li> <li>あいさつ等の善行者表彰</li> </ul>			
安全な学校づくり	子ども・教職員の自己評価 95%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と連携した合同防災避難訓練の実施等の体験的な防災教育の実施</li> <li>交通安全・生活安全等の安全教育の実施</li> </ul>			
地域との連携を図り、魅力ある教育活動の展開	子ども・教職員の自己評価 95%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のよさや日本の伝統文化を学ぶ(生活科総合的な学習の時間)</li> <li>自分が暮らし育つ地域に愛着をもち、日本の文化や伝統を受け継ごうとする心を育む。(60周年記念行事)</li> </ul>			
保護者／地域への情報発信(安心)	HP 継続的更新 必要時のメール配信 学校だよりの充実	児童の実態・指導内容の共有と迅速な情報の発信			